

## Metaverse

Virtual

Entertainment

Communication

...

# 1 メタバーズの概要

## 2 静岡県における活用事例

### 3 本市の事例 「民間配信メタバーズの活用」 「出前講演におけるオンラインの活用」

市長公室 広報戦略課  
総務市民局 広聴課  
令和6年6月

1

## 1 メタバーズの概要（総務省資料より抜粋）

現時点で確立した用語の定義が存在しないものも多いため、ここまでの議論等を踏まえ、以下のとおり論点整理に用いる用語を整理することとする。

### ●メタバーズ

ユーザー間で「コミュニケーション」が可能な、インターネット等のネットワークを通じてアクセスできる、仮想的なデジタル空間

（以下「仮想空間」という）。

メタバーズについてさまざまな定義が提唱されているが、仮想空間が、次の①～④を備えているものとする。

- ①利用目的に応じた臨場感・再現性があること（デジタルツインと同様に現実世界を再現する場合もあれば、簡略化された現実世界のモデルを構築する場合、物理法則も含め異なる世界を構築する場合もある）
- ②自己投射性・没入感があること
- ③（多くの場合リアルタイムに）インタラクティブであること
- ④誰でもが仮想世界に参加できること（オープン性）

出典：2023年7月の総務省令和5年  
「情報通信に関する現状報告」

2

## 2 静岡県における活用事例

### ➤ Metaverse SHIZUOKA (令和6年1月24日オープン)



◀目的▶  
 ・静岡県の魅力発信とともに、誰でも参加できる意見交換や交流が可能なメタバース空間を活用し、主に若年層を対象として県政への積極的参加を図る

◀概要▶  
 ・メタバース内では3DCGで作った富士山頂・伊豆の大自然といった特別な絶景スポットを訪れることができ、同じ空間内の参加者と交流することが可能

◀参考▶  
 ・令和5年度予算額：11,000千円  
 メタバースを活用した広聴広報業務

出典：静岡県HP  
3

## 2 静岡県における活用事例

### ➤ Metaverse SHIZUOKA (概要)

**01** 必ずはこちらにアクセス!  
 Metaverse SHIZUOKAの入口

**02** 静岡を発信!  
 Metaverse SHIZUOKAの各PRエリア  
 静岡県内各エリアのPRエリア。各地の観光資源を掲載しています。

**03** 意見交換会を実施!  
 FUJI Sky Deck / Izu Sky Deck  
 富士山頂上や伊豆の大自然を背景に、意見交換や交流を実施します。

**04** 県外・海外に向けた発信も可能!  
 FUJI Sky Deck  
 国や海外からの参加者も、富士山頂上や伊豆の大自然を背景に、意見交換や交流を実施します。

**エントランス**  
 操作方法などの紹介

**静岡情報**  
 各地域局上空から各地PRエリアへ

**県庁前広場**  
 県政情報掲示  
 県外・海外への情報発信など

**意見交換会場**  
 富士山頂上や伊豆の大自然の  
 雰囲気の中での意見交換や交流会

出典：静岡県HP  
4

## 2 静岡県における活用事例

### ➤ Metaverse SHIZUOKA（広報活動）



5

## 2 静岡県における活用事例

### ➤ Metaverse SHIZUOKA（広聴活動）



#### これまでの主な事例

- ◆世界遺産 県民講座&タウンミーティング
  - ・令和6年1月27日
  - ・定員50名
  - ・メタバース空間からも参加可能
- ◆メタバース英会話交流会
  - ・令和6年3月13日
  - ・参加：浜松市立西小学校 62名  
浜松市立西部中学校 54名
  - ・フードコートを模したメタバース空間内で、店員と客に分かれて英会話によるコミュニケーション

出典：静岡県HP

6

### 3 本市の事例「民間配信メタバースの活用」

TGC公式メタバース「バーチャルTGC」に市のPRブースを出展

#### ➤ 目的

コロナ禍の中、新しい形のシティプロモーションとして民間配信のメタバース空間を活用

#### ➤ 出展内容

- ・市のPR動画放映、アンケート
- ・観光大使 藤原樹のフォトスポット



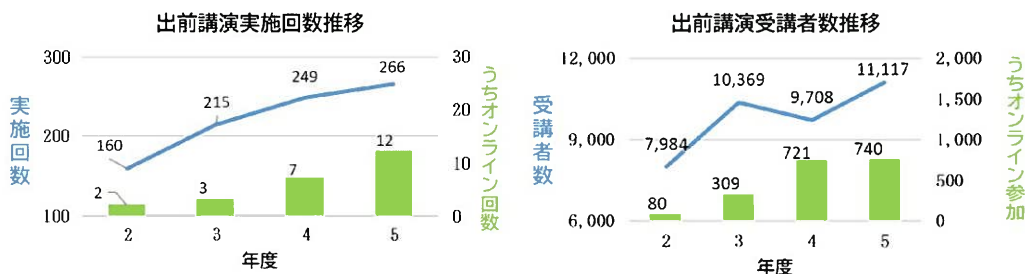
#### ➤ 結果

- ・2週間で来訪者約7,500人
- ・市の認知度は、グルメ（41%）、映画のロケ地（27%）、新三大夜景（15%）など

7

### 3 本市の事例「出前講演におけるオンラインの活用」

➤ 対面での出前講演を実施。コロナ禍以降、オンラインの活用が増加傾向にある。



※回数等については、広聴課把握分

8